

令和4年度 宗像区中学校新人剣道大会
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて

剣道専門部

- 1 「宗像区中学校体育連盟主催大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に則り、大会を開催する。
- 2 感染予防策について
 - ① 会場への入場について
 - 10月2日(日)午前 女子の部(団体戦)
生徒：選手、係員、応援生徒
観客：登録選手1名につき2名まで入場可能。
 - 10月2日(日)午後 男子の部(団体戦)
生徒：選手、係員、応援生徒
観客：登録選手1名につき2名まで入場可能。
 - ② 密を防ぐためにミーティングなど密集する状態を極力つくらないこと。
 - ③ 保護者は「参加同意書」(県中体連ホームページよりダウンロード)に必要事項を記入し、所属校の学校長に提出する。同意書は学校保管とする。
 - ④ 各校の登録生徒及び監督・引率者・外部コーチ等の大会前後1週間分(計2週間分)の体調を「体調記録表」(県中体連ホームページよりダウンロード)に記録すること。記録表は学校保管とする。
 - ⑤ 引率者は、「大会当日体調記録表」(県中体連ホームページよりダウンロード)に、大会当日の選手や監督、コーチの体調を確認・記録し、大会本部に提出する。
 - ⑥ 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、学校および主催者に対してすみやかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
 - ⑦ 会場では常にマスクを着用すること。試合前の整列時もマスクを着用する。面をつける場合には、面をつける直前にマスクをつけ替え、使用したマスクはビニール袋等に入れ名札の中に入れる。面を外し、マスクを付け替える場合にも同様である。
 - ⑧ 選手は試合時に面マスク及び面シールド(マウスシールド可)を装着する。
 - ⑨ 各学校控え場所(使用した場所)は、責任もって消毒する。消毒・用具については、各学校で準備する。
 - ⑩ 感染者、濃厚接触者と特定された者は、行動制限期間中の出場は認めない。
 - ⑪ 休校、学年閉鎖、学級閉鎖や部活動停止期間中、濃厚接触者に該当しない場合、大会2日前から検査(抗原検査可)を実施し、陰性が確認できた上で、体調に変化がなければ、大会出場を認める。「陰性証明」もしくは「陰性が証明できるもの(陰性証明と日付がわかる写真等)」を各学校顧問に提出すること) ※ただし、上記の条件を満たしたとしても、地域や学校によって状況が異なるため、保健福祉事務所や学校医等の意見を参考に、各学校は各市町教育委員会と協議を

行い、最終判断することとする。

- ⑫ 団体戦においては、参加申込後の選手交代を認める。
- ⑬ 大会期間中に発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。また、試合後に発熱等の症状が見られた場合は、対象選手の体が冷えてから再度検温をする。それでも熱がある場合には、保護者及び各学校管理職に連絡し、帰宅させる。
- ⑭ 当日、急に症状がみられる場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し、帰宅させる。
- ⑮ 大会参加者は他の参加者、大会関係者との距離(できるだけ2m以上を目安に最低1m)を確保すること。
- ⑯ 大会中の応援は拍手のみとする。
- ⑰ 会場入口およびトイレには、手指消毒剤を設置し、消毒すること。
- ⑱ 換気用に窓は常に開けておくこと。